

(お知らせ)

## 福島第一原子力発電所および福島第二原子力発電所における 耐震性向上に対する取り組みについて

平成 18 年 11 月 24 日  
東京電力株式会社  
福島第一原子力発電所  
福島第二原子力発電所

当社は、本年 9 月に改訂された発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針に照らした耐震安全性評価<sup>\*1</sup>を経済産業省原子力安全・保安院からの指示に基づき、計画的に実施しております。

また、指針改訂に至るまでの検討状況等を踏まえながら、福島第一原子力発電所および福島第二原子力発電所における耐震性向上に関する現時点での対応についても自主的に検討してまいりました。

その結果、福島第一原子力発電所の一部の補助施設<sup>\*2</sup>において、耐震性向上に資する工事を実施することといたしました。

当該工事につきましては、着手可能なものから速やかに実施するとともに、今後の定期検査等にあわせ計画的に実施してまいります。

なお、現在実施している耐震安全性評価等において、今後耐震性向上に資する対応が必要と判断される場合は、積極的に適切な措置を講じていくこととしております。

以 上

### \* 1 耐震安全性評価

新耐震指針に照らした地質調査および地震調査結果に基づき基準地震動を策定し、その基準地震動に対する機器・建屋などの地震応答解析から機器・配管等の評価を実施するもの。

### \* 2 補助施設

原子炉圧力容器や原子炉格納容器等の耐震設計上重要な施設本体ではなく、その施設に付帯する施設。

添付資料：耐震性向上に向けた取り組みの概要

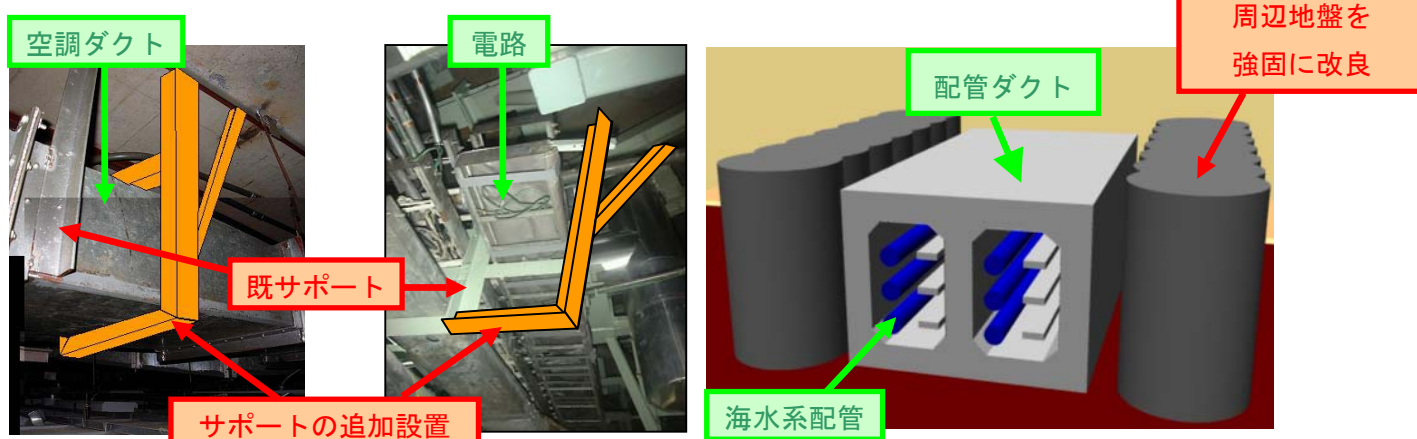
## 耐震性向上に向けた取り組みの概要

- 耐震性に関するこれまでの新たな知見に対する確認状況や、今般の指針改訂に係る検討状況を踏まえ、耐震性向上に関する現時点での対応について自主的に検討してきた。
- その結果、以下の福島第一原子力発電所の一部の補助施設において、耐震性向上に資する工事を実施することとした。なお、福島第二原子力発電所については、同様の対応を行う施設はない。
- 同工事については、着手可能なものから速やかに実施するとともに、定期検査等に合わせ計画的に実施していく。

### 【福島第一原子力発電所における耐震性向上工事の概要】

対象施設	工事内容	対象号機	予定工期
非常用空調設備	・ 空調ダクトのサポートの追加設置 ・ 空調機架台の補強	1～3/5/6号機	平成18年12月 ～平成20年度上期
非常用電気機器	・ 電気器具（継電器等）の取替	1/4号機	平成18年12月 ～平成19年度上期
非常用海水系配管ダクト	・ 配管ダクト周辺の地盤にセメント系固化材を噴射・混合し周辺地盤を強固にする	4/6号機	平成18年12月 ～平成19年度下期
電路サポート	・ 電路類（ケーブルトレイ、電線管）のサポートの追加設置	1～3号機	平成18年12月 ～平成20年度上期

### 【耐震性向上工事のイメージ】



非常用空調ダクト工事

電路サポート工事

非常用海水系配管ダクト工事